

## 審査の結果の要旨

氏名 今泉 結

本論文では、マウス脳における 1) Cdkn1c インプリント鎖の機能、および 2) Zfp57 によるインプリント遺伝子のアレル性発現制御メカニズムの 2 点に着目し、新規手法を開発・駆使して解析した。その結果、1) については、発現レベルの非常に低い Cdkn1c インプリント鎖が、脳発生に非常に重要な役割を果たしていることを見出した。さらに、2) については iGONAD 法を用いることにより従来法では困難であったハイブリッドマウスにおける遺伝子破壊を可能にし、胎生期脳におけるインプリンティング制御について新たな知見を提供した。本論文の研究は非常に重要な価値があると同時に、本研究にて開発された実験手法は、今後アレル性発現に関する様々な疑問に答え得る可能性を示すものと考えられる。

また、口頭試問において論文内容及び関連分野について議論した結果、当該分野に深く精通しており、博士号を授与するに十分な資質と見識を備えていると判断した。

よって本論文は博士（薬科学）の学位請求論文として合格と認められる。